

研究交流計画の目標・概要

【研究交流目標】 交流期間（最長3年間）を通じて自立的で継続的な国際研究交流拠点の構築と次世代の中核を担う若手研究者の育成における目標を記入してください。実施計画の基本となります。

1. 自立的で継続的な国際研究交流拠点：参加機関による医療技術評価（HTA）コンソーシアムの構築

本事業は、アジア・アフリカの低中所得国における医療財政システム強化およびユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を推進させるため、特に医療技術評価（HTA）を用いた医療予算配分の効率化に係る政策支援を行うための国際研究交流拠点、若手研究者・政策担当者育成のための拠点を構築する。具体的には、タイ保健省医療技術評価機構（以下、HITAP）、マヒドール＝オクスフォード熱帯医学研究ユニット（以下、MORU）、シンガポール国立大学公衆衛生大学院（以下、NUS）、一橋大学医療政策・経済研究センター（以下、HIAS Health）を中核とした医療技術評価コンソーシアム：The Southeast Asia Partnership for Policy and Health Intervention Research and Evaluation（SAPPHIRE）を立ち上げる。SAPPHIRE を中核として、アジア・アフリカ地域における UHC 推進政策に向けた学術的な技術支援、特に HTA の政策導入に係る基礎研究と政策助言活動、及び若手研究者・政策担当者育成プログラムを実施する。具体的には、セネガル、ケニア、ブータン、フィリピンにおける国別プロジェクトの他、地域全体をカバーする HTA 政策研究やそれに基づく政策ガイドライン策定と、各国政府における普及活動（ワークショップ等）を実施する。

2. 次世代の中核を担う若手研究者の育成

本事業では、SAPPHIRE における研究活動への若手の積極登用、研究インターン制度の締結、若手中心の共同セミナーの企画等により、若手研究者が国際的・学際的な環境における研究経験を積み研究キャリアを伸ばす機会を提供する。また、アジア・アフリカ地域における若手政策担当・研究者を対象とした人材育成プログラムの構築により、政策担当者の育成支援を行う。さらに、若手研究者を支援対象国の政策担当者との現地における会議に積極的に参画させることで、政策研究で重要となる政策議論の経験と、国際的な政策ネットワークの拡大に寄与する。

【研究交流計画の概要】 我が国と交流相手国の拠点同士の協力関係に基づく多国間交流として、どのように①共同研究、②セミナー、③研究者交流を効果的に組み合わせて実施するか、研究交流計画の概要を記入してください。

1. 共同研究

アジア・アフリカ地域の低中所得国の医療制度運営における HTA の政策導入を支援するための共同研究を行う。セネガルにおけるコミュニティ保険が給付する医薬品や医療行為等のパッケージ策定を科学的に行う手段としての HTA 推進に係る基礎研究を行う。具体的には、ニーズアセスメントや、新規医薬品（ワクチン含む）の費用対効果評価、さらには HTA 政策導入プロセスの分析等を本事業参加機関およびセネガル政府と共同で行う。次に、ブータンにおいて保健省が指定する必須医薬品やワクチンへの給付を決める際に行われる費用対効果評価について、その結果を判断するための基準値となる「閾値」の定量的な導出を行う。その他、協力機関が主導するケニアやフィリピンにおける HTA 関連の共同研究プロジェクトに参画する。

2. セミナー

SAPPHIRE における共同研究や交流事業の定期的なモニタリングと戦略的な発展について議論するため、毎年度全参加国が参加する年次会議を開催する。年次会議と同日に共同研究プロジェクトの成果報告の場として若手研究者中心の学術セミナーを同時に企画する。さらに、セネガルとブータン両国において研究成果の報告と HTA の政策導入に必要な人材育成を目的とするワークショップを開催する。

3. 研究者交流

参加各国が主催する毎年の年次大会や研究成果報告のためのセミナー、また共同研究の実施を通して研究者の交流をはかる。また、原則月 1 回の頻度で電話会議による運営委員会を開催し、継続的な活動のモニタリングと評価を行う。さらに、主に若手研究者を対象とした参加機関のインターン制度を締結し、若手研究者が海外の競争力のある協力機関においてサポートを受けながら共同研究を遂行しつつ、自身らの研究ネットワークを拡張できるようにする。

4. 効率的な組み合わせ

セミナーやワークショップは若手主導で実施する共同研究成果の途中報告の機会とし、年次会議開催の研究者交流と合わせて実施する。また、対象国政府機関におけるワークショップは若手研究者の成果報告に加え、政策担当者の人材育成プログラムと合わせて開催することにより、若手研究者に対して実際の政策担当者との交流と政策ネットワーク形成の機会を提供する。

【実施体制概念図】 本事業による経費支給期間（最長3年間）終了時までには構築する国際研究協力ネットワークの概念図を描いてください。

